

花と緑の銀行だより

155号 2005.5



カキツバタ／富山市婦中町

目次

- | | | | |
|------------------------|-----|--------------------------|----|
| • 花と緑の提言 | 2 | • 自然を愛する子供の育成をめざして | 8 |
| • 花総合センターの紹介 | 3 | • 庭木の松類を守る | 9 |
| • 花壇づくりのポイント | 4 | • このひとあり | 10 |
| • とやまの花壇苗・鉢花 | 5 | • 草花の害虫とその防除法 | 10 |
| • 第15回花と緑のフェステバル | 6～7 | • 情報コーナー | 11 |

花と緑のあふれるまちづくりを目指して



小矢部市長

大家 啓一

日頃、皆様方には、花と緑の銀行活動をと
おして、花と緑のあふれるまちづくりの推進
にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

小矢部市では、市民団体とともにまちづく
りへの啓発の一環として、市の花である「花
菖蒲」をテーマとした「花菖蒲祭り」をはじ
め、桜の名所に指定されている城山公園や俱
利伽羅県定公園において「城山お花見祭り」
「俱利伽羅さん八重桜まつり」、小矢部川堤防
の桜並木を会場とした「つぎわ桜まつり」な
ど「花」をテーマにしたイベントが数多く開
催されています。

また、花と緑の銀行の取り組みについて、
各地区のグリーンキーパー数も増え、設立当
初は地区公民館などが活動の拠点でしたが、
近年では道路へのプランターの設置や、路肩
を花壇に改良したフラワーロードの整備な
ど、広い範囲での取り組みもなされるよう
になりました。さらに、花壇コンクールへの出
展や、地方銀行による現地課題研修会の開催、
優良花壇視察など、より広域的な活動が展開
されています。

これら活動の大きな特徴は、行政からの要
請ではなく、市民の自主的な参加による花と
緑のあふれるまちづくり活動であることで
す。

これまでの成果として、グリーンキーパー
の皆さんによる各地区公民館の花壇整備や、
道路の路肩における花や緑化木の植栽は、市
民に潤いと安らぎを与え、緑豊かな田園景観

を形成する重要な役割を果たしています。

近年、ご存じのとおり国や地方を問わず財
政状況が厳しく、行政が担うサービス業務の
見直しが広く行われており、当市においても
昨年「小矢部市行財政改革大綱」を取りまと
め、今年度からその計画を実施しているところ
です。このなかでも「行政と市民との協働」
が改革の重要な課題となっており、緑化・美
化活動としてアダプト・プログラム（公共施
設の里親制度等）を推進していきます。

花と緑の銀行での中心的役割を担っておら
れるグリーンキーパーの活躍は、まさしくそ
のモデル的な活動であるといえます。

今後、小矢部市では、綾子河川公園の整備
を中心に身近な自然と親しめる公園や緑地の
整備を進めていきます。また、市内の小中学
校や公共施設にバラを植栽し、メルヘン建
築物をバラの花で飾る計画を進めていきす。
これは、小矢部の田園空間にあざやかな花を
咲かせることで、県内シェアの約半数を占め
る小矢部市特産のバラを県内外にアピールす
るとともに、花と緑のあふれるまちづくりを
目指し、本市第5次総合計画にある都市将来
像である「すこやか さわやか にぎやか お
やべ」を演出しようとするものです。

終わりになりますが、今後とも、潤いと安
らぎのある豊かな小矢部市となるよう、皆様
方の一層のご理解とご協力をお願いいたしま
す。

花の生産支援と多彩な楽しみ方を提案

（勸花と緑の銀行）

花総合センター部長 名畑 清信

花総合センターは、県内の花の生産振興に寄与するとともに、広く県民の皆様方に花と緑に親しんでいただくための施設として、昭和62年4月に設置されたものです。さらに平成5年4月には富山県植物公園ネットワークで、園芸専門植物園として位置づけされたことから、園芸作物を中心とする花と緑に関する総合的な情報発信基地としての役割を強化しながら現在に至っています。

花きの生産支援

花の生産については、県内の花生産農家の経営を支援するため本県に適する花き類に関する栽培技術実証試験を実施し、新しい品目や品種等について実際にモデル花壇に植栽して展示するとともに、普及センターを通じて農家の皆さんに活用していただいています。また、当センターで実施している年3回の花まつりの際にも試験結果やその活用方法を展示し普及に努めているところです。ちなみに、近年はパンジー、ビオラ、ペチュニア、ベゴニア、など県内で生産される主要種のほか多くの品目についての試験を実施し、それに基づく情報を発信しています。



モデル花壇への植付けを待つリビングストーンデージー

花と緑の多彩な楽しみ方の提案

生活の環境が複雑で高度化するにしたがって近年は園芸に関する関心がとみに高まってきていることから、これに応えるためさまざまな工夫をこらしています。

ガーデニングに関しては、当園で育苗した花をモデル花壇に植栽して花壇作りの参考にいただいているところです。また、最近の住宅事情の下でも十分楽しめるような提案型の花壇として、キッチンガーデン、ロックガーデン、カラーリーフガーデン、フレグランスガーデン、イングリッシュ風のガーデンなどを設置していますが、来園者の関心にはとても高いものがあります。

花や緑の楽しみ方については、県民緑化カレッジとオープン講座を実施して、広く園芸に関する関心の高まりに応えるほか、飛び込みの講座希望や園芸相談にも応じています。

当センターには年間10万人を超える来園者がありますが、四季を通じて花と緑に親しんでいただけるような工夫も随所に取り入れています。フラワーウォールやフラワーボールなどの立体花壇も見ごたえがありますので是非来園いただきたいと思います。



富山県と世界遺産をデザインしたフラワーウォール

花壇づくりのポイント

前(財)砺波市花と緑の財団
技術顧問 西井 謙治

世の自然志向の風潮は、花壇づくりもまた、自然風へと方向を変えてきました。植栽植物に、緑化木、宿根草、球根類、一年草などを用いて、それぞれの個性を発揮させながら、しかも調和ある立体構成とし、一方、若葉、花、実、紅葉、落葉とおのずから四季のうつろいを演出する花壇づくりは、ここ数年、全国コンクールに出展し、上位入賞を繰り返すまでになってきました。そこで、限られた場所に、限られた素材を用いて、限りない思いを盛り込んだ自然風花壇について、その要点を、おさらいしてみたいと思います。

設計と植栽

- 1 周辺環境に調和する花壇となるか、植物栽培に適する土壌条件か、について吟味する。
- 2 花壇の見せ場（フォーカルポイント）を決定する。どんな花壇でも、ここぞという見せ場がないと、全体に散漫な感じで、印象の薄いものとなる。（位置としては、中央よりやや片寄せて）
- 3 植え込み素材のデザイン性についてよく知る。
 - (1)生育特性
 - (2)鑑賞時期とその期間
 - (3)色彩：花色、葉色、茎（幹）や枝の肌色
 - (4)質感：花や葉の大小、枝や葉の繁り具合の粗密、葉の形（羽状、掌状など）、厚さなど。
 - (5)形状：草丈（樹高）の高低、茎や枝葉の広がり（葉張り）

以上の5点の特性をよく知った上で、用いる植物を決定しないと、思わぬ失敗を招くことがあります。

4 色を基準とした花選び

植え込み素材は、花色が重点となるのは勿論ですが、葉のボリュームや緑の濃淡が花を引き立てたり、逆に作用することを心得て

おきたいものです。

- (1)季節の陽の光と適合する花色を選ぶ（季節のイメージカラーを知る）：春は光がやわらかく黄やピンク系のパステルカラー、夏は強い日差しで赤や濃オレンジ系のビビッドカラー、秋には日差しが弱くなりパステル調に、また日陰では淡いパステル調が明るく綺麗に見えるが強光下では、色あせて見える。
- (2)色の組み合わせ：どんな色を組み合わせることも自由ではありますが、美しく見せるには法則性があるとされています。
 - 1) 同系色でまとめる：同じ色調で統一し濃淡だけで変化させる（グラデーションへの配慮）心安らぎ上品に見える。
 - 2) 色相環で相対する位置の色を選ぶ、色の純度の近い花を選ぶことがポイント、しかし、完全に対立する色は、コントラストが強すぎるので、真夏以外は、対立位置から少しづらします。
 - 3) 純度の近い色3色をミックスする。パステル系だけより原色に近い色を組み合わせる。色の配合比は、色相環の位置を見てなるべく均等にしてやります。
- 5 リリーポンドと水性植物：水のある花壇の楽しさ。
- 6 芝生の活用：緑の空間と人々の交歓の場の確保

修景素材の応用

花壇構成の主役ではないが、植え込み植物を引き立て、デザイン性を高める働きとして効果的で見逃すことができません。

- (1)石やレンガなど
- (2)古根株、流木など
- (3)トレリス、ラチス、ウッドデッキ、ベンチなど
- (4)あずまや、アーチ、モニュメントなど

とやまの花壇苗・鉢花

木立性セネシオ『^{けい か}桂華』

富山県農林水産部技術推進課普及指導班

主任普及指導員 佐藤 克美

1. 木立性セネシオ「桂華」の特徴

桂華は、キク科セネシオ属の多年草です。原種は北アメリカのロッキー山脈等に自生していますが、それを奈良の生産者が品種改良し「桂華」という商品として世に送り出しました。サイネリアとよく似た花ですが、花色が豊富で、寒さに強く、冬期間咲き続ける注目の鉢花です。

2. 生産の現場では・・・

「桂華」は、育成者と契約した鉢花生産農家によって栽培されています。育成者から購入した苗を鉢に植え込み、株を養成して早春2～3月を中心に出荷されます。

寒さには強いのですが、夏の暑さには弱いので、株養成には、遮光資材を用いた温度管理や水管理に工夫が必要です。

3. 花を長く楽しむための管理

①置き場所

できるだけ日当たりのよい場所に置きましょう。日当たりの悪い場所で楽しむ場合は、週に2～3回、日光浴させます。

低温には強く、雪や霜に当たらない場所で凍らない程度に管理すれば問題ありません。しかし、暖房された室内で温度が高すぎたり、乾きすぎて弱ることがあるので注意が必要です。



桂華の花

②水管理

水やりは、土の表面が乾いたらたっぷりやりましょう。しかし、鉢皿に水を溜めたままにすると、過湿になって生育不良となることがあります。

③肥料

花が咲き続けるため、肥料不足になると花が小さくなってくるので、薄い液肥を週に1回程度施用します。

④株の手入れ

咲き終わった花や黄化した葉は病気の発生源となるため、こまめに摘み取ります。花が終わった花梗は、切り戻しすると、新しい枝が伸びて再び花が咲きます。

⑤開花後の株養成

生育が旺盛なので、春と秋に一回り大きな鉢に植え替えます。

低温には強いのですが、高温多湿には弱いので、できるだけ涼しい場所で管理します。この期間も株づくりのため、こまめにかん水します。夏期間は花が咲きませんが、涼しくなってくると再び花が咲き始めます。

⑥病虫害防除

高温時にうどんこ病が発生することがあります。また、アブラムシやハモグリバエ、スリップスが発生することがあります。発見したら早めに防除しましょう。



栽培状況

第15回 花と緑の冬のフェスティバル

平成17年2月11日(金)～13日(日)

●メイン会場(テクノホール) 来場者24,000人



開会式におけるテープカット



花の品評会



即 売 会



茅編実習



コンテナガーデン



お茶席庭園



販わう会場



立山町むつみ幼稚園によるマーチングバンド



花き生産者によるセリ市



フラワーデザインコンテスト表彰式

●サテライト会場(花総合センター) 来場者5,000人



メイン展示を楽しむ来館者



チューリップを用いた空間装飾



花のアーケードを楽しむ来館者



花のアーケードとメイン飾花



フラワーアレンジメント講習



175 品種を展示した水仙

地域との交流を楽しみながら、 自然を愛し勤労を尊ぶ子供の育成をめざして

富山市立小羽小学校

教諭 中村 積子

1はじめに

小羽小学校は、全校児童18名の小規模校です。学校創設以来、花壇作りを行っていましたが、平成元年に古タイヤを利用したフラワーポット約100個をPTAの協力で作ったのをきっかけに、本格的に取り組み始めました。ふるさとふれあい活動や総合的な学習の時間に位置付けて、創意を生かして花作りに取り組んでいます。

小規模校で、土作りから苗植え、花の管理、後始末を行うには大変な労力と技術が必要です。そこで、地域やPTAの力を借り、交流を楽しみながら花作りに取り組むことで、自然を大切にする態度と共に、温かく豊かな心も育んでいます。

県学校花壇コンクールでは、平成14年から平成16年まで優秀賞、努力賞を受賞しました。子供たちの中に自分たちの花壇をますます豊かにしようという心が育ってきています。



2活動の状況

春には、花壇で育てたチューリップに手紙を添えて、子供たちの手で地域の全家庭に届け、喜ばれています。花壇の土作りや植え付けは全校で行い、その後、児童一人一人が4個のプランターを管理しています。校舎前の階段や樹木、池に合わせてプランターを配置し、周囲の自然に合った花飾りを工夫しています。夏には、ふるさとふれあい活動の一環として地域の老人会の方と花摘みや除草を行い、交流しています。



3花壇作りの成果

毎日、全校児童が花壇に足を運び、花摘みや除草を継続することで、子供たちに勤労の精神や植物を愛する心が育っています。また、活発に地域と交流することで、地域を愛する心や年長者を尊敬し感謝する心も育ってきています。



庭木の松類を守る ―病虫害以外の原因による枯れ―

富山県林業技術センター林業試験場
中山間地域資源課長 西村 正史

松は日本を代表する樹木であり、庭木の代表的な樹木でもあります(写真)。これまで、庭木の松が変色したり、元気がなかったりなどして、試験場に持ち込まれた相談の中には病虫害が原因でなかったケースが、度々ありました。そのような場合、現地へ出かけて、庭木を見させて頂くと、松全体の勢いがなく、ここ数年来の枝の伸びも悪い状況で、枝の一部が枯れたり、甚だしい場合には衰弱してほとんど枯損状態に近かったりする松が大半でした。今回はこのような状況になった原因の代表的な事例をいくつか紹介したいと思います。

強度剪定による枯損

庭木の松では、その形を美しく整えながら、適正な大きさに維持していくために、剪定という作業を行います。この作業が適正に行われていればよいのですが、時として強度剪定になることがあります。松は枝を切断してしまうと、広葉樹のように再度枝が再生するようなことはありません。ですから、剪定で当年枝をすべて切断すると、翌年は新芽がでできませんので、衰弱し枯れる運命にあります。ですから、剪定では必ず一部の当年枝を残すようにすることが大切です。

剪定の際、通常の剪定をしたとしても、松の樹勢がよくなかったり、マツカレハなどの食葉性害虫の被害によって葉が少なくなっていたりすると、枝枯れを起こす場合がありますので、注意してください。

盛土による枯損

庭園を少しでも良くしようとして盛土をされる場合があります。30cmの盛土をされると、根は締め付けられて衰弱し、枯死に至りますので、水を吸い上げることができなくなり、松が枯れ

てしまいます。

庭園に土を持ってくる目的は土壌改良であると思いますので、堆肥等を既存の土壌にすきこむようにしてください。

新規住宅地における松の枯損

新たに宅地造成地に新居をかまえ、松を含む庭木を植栽したが、5～10年経過した頃に樹勢が衰え始め、枯れる樹木も出現したという相談を受けたことがあります。

これは宅地造成時に重機で地盤を堅くしめた土地に、庭園を作った際にその上に盛土をして樹木を植栽したためです。植栽時は樹木が小さいので、根は盛土の部分で生活していますが、大きくなると、根は重機でかためられた部分へ侵入しようとしませんが、堅いため侵入できなかったり、水が停滞している場合には根が腐ったりして、根の成長が著しく衰弱します。そのため、樹木は徐々に衰弱していくのです。

このような場合には、堅くしめつけられた部分を耕し、堆肥等も加えて盛土と混和して、できるだけ深くし、根の伸長範囲を深くすることが大切です、さらに、暗渠排水を行えばさらによい結果が得られます。



庭園に植栽された松

海を連想させる花壇づくりを推進

花と緑の銀行富山支店 富山市四方校下グリーンキーパー 蛸谷 忠夫 さん

前富山市緑地公園課 堀井 健次



平成17年4月の富山地域7市町村合併に伴い、大きな新富山市が誕生しました。市では、花と緑に満ちあふれた潤いのあるまちづくりをめざして緑化活動の推進を行っています。

それぞれの地域で花と緑がいったいのまちづくり活動が積極的に展開されていますが、特に四方校下は海に面しているところから、さわやかな風が感じられる、海の香り漂う花壇づくりが進められています。この地域では漁業が盛んですが、工業地帯にも隣接しており、平成元年度から花の愛好家が集まって、「遊休地の有効利用と環境美化、潤いあふれるまちづくりの推進」を念頭に花壇づくりをスタートさせました。

最初は、赤色のサルビアやオレンジ色のマリーゴールドなど、明るい色の花を中心とした一年草が主体の花壇づくりを行っていましたが、最近徐々に青や紫色といった見た目に優しい色づかいを取り入れた花壇へと移行しつつあります。四方校下の花づくりもその流れを積極的に取り入れて、海を連想させる青や紫色の宿根草を多く用いた花壇づくりを行うようになっていきました。

また、アクセントとして四方漁港に流れ着いた流木や漁網、浮きなどをオブジェとして飾り付けることで、四方ならではの海を感じさせる特色ある花壇に変わっていきました。

現在、その花壇づくりの輪は、隣接する四方小学校や四方保育所の花壇づくりにも波及し、地域の絶大な信頼を得て、四方校下全体の花壇づくりのけん引役として活躍しておられます。

〈技術情報〉

草花の害虫とその防除法 4. タバコガ類

富山県立大学

非常勤講師 成瀬 博行



タバコガ類の害虫には、タバコガとオオタバコガがあります。近年野菜や花での被害が増加し、全国的に大きな問題になっています。両種は鱗翅目ヤガ科に属し、極めて近縁な種類です。翅は黄褐色（病害虫防除所）～灰黄褐色をしており、横に開いた状態で前翅の端から端までの幅（開帳といいます）でタバコガが約3p、オオタバコガが約3.5wpの中型の蛾です。2つの種類は形や色がたいへん似ており、簡単には区別できませんが、タバコガの方がサイズが小さく、色が濃く、斑紋がはっきりしています。

両種とも加害する作物の種類が非常に多く、野菜では、トマト、ピーマン、ナス、キャベツ、レタス、スイカなどで大きな被害が発生しています。中でもタバコガはナス科の植物を好むようです。花き類で

もキク、カーネーション、バラをはじめ、多くの草花で新芽、蕾、花、茎などに幼虫が次々と潜り込んで食害するため、生長を妨げるだけでなく、鑑賞価値を著しく低下させます（写真参照）。タバコガ類は蛹の状態で土に潜って冬を越します。成虫は、5月～11月にかけて3～4回発生するとみられています。両種とも県内全域で発生し、特に最近増加の傾向がみられます。春の間は飛来数は多くありませんが、夏以降急激に増えて、8月～9月頃にピークとなるようです。

防除については、蕾や茎に潜り込んでしまうと薬剤の効果が悪くなりますので、早期発見に努め、使用基準に従って早めに薬剤を散布してください。環境にやさしい防除法として、防虫ネットで成虫の侵入を遮断したり、黄色の電灯で照らして成虫の行動を抑制する方法もあるといわれています。今後、これらの農業に頼らない防除法が一般の花壇などでも適用できるよう期待したいと思います。

平成17年度 県民緑化オープン講座 受講者募集のお知らせ

(申込み先) 富山県花総合センター 〒939-1383 砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187 FAX 0763-32-1219

講座名 (内容)	回	開催日	講座名 (内容)	回	開催日
キッチンガーデンを楽しもう① (夏野菜)	1	4月9日(土)	秋植え球根の楽しみ方	15	10月15日(土)
	2	4月16日(土)		16	10月22日(土)
洋ランを楽しもう① (洋ランの基礎知識・魅力)	3	5月7日(土)	冬に楽しむプランターづくり	17	11月5日(土)
	4	5月14日(土)		18	11月12日(土)
初夏を彩るプランターづくり	5	5月21日(土)	クリスマス飾ろう (リースなど)	19	11月26日(土)
	6	5月28日(土)			
グリーンを楽しもう	7	6月18日(土)	正月飾ろう (松竹梅の寄植え)	20	12月10日(土)
	8	6月25日(土)		21	12月17日(土)
プリザーブドフラワーを楽しもう	9	7月9日(土)	正月飾ろう (正月かざり)	22	12月24日(土)
	10	7月16日(土)			
バラを育ててみよう (剪定・肥培管理など)	11	8月27日(土)	早春を彩るプランターづくり	23	3月4日(土)
	12	9月3日(土)		24	3月11日(土)
洋ランを楽しもう② (冬越しの準備)	13	10月1日(土)			
	14	10月8日(土)			

※申し込みは各開催日の1ヶ月前まで、定員は30名、実費負担(1,500円～2,000円程度)あります。

※都合により、日程・内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

平成17年度 各種コンクール実施計画

(申込み先) 財団法人花と緑の銀行 〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425 FAX 076-465-5923

HP <http://www.bgtym.org/fgbank/>

1 推奨花壇の認定審査

推奨花壇認定審査 (※)	応募締切予定日	審査予定日
各部門共通	7月13日(水)	7月20日(水)

(※) 最優秀賞を過去5年間に3回以上受賞するか、全国コンクールにおいて入賞するなど、継続して成績が優秀と認められる花壇 ※幼稚園・保育所、学校花壇を除く

2 コンクールの部

コンクール名	応募締切	審査予定日
花の道コンクール	7月20日(水)	7月27日(水)～7月29日(金)
学校花壇コンクール	7月27日(水)	8月3日(水)～8月5日(金)
幼稚園・保育所花壇コンクール	8月3日(水)	8月10日(水)～8月11日(金)
一般花壇コンクール	8月10日(水)	8月24日(水)～8月26日(金)
個人花壇コンクール	7月20日(水)	7月25日(月)・8月12日(金) (一次審査) (二次審査)
花と緑のポスター原画コンクール	9月7日(水)	9月中旬
花と緑の標語コンクール	9月7日(水)	9月下旬
花時計花壇デザインコンクール	9月9日(金)	9月中旬



縄が池のミズバショウ／南砺市

花と緑の銀行だより 155号

発行日 平成17年5月
編集発行 財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田4-2
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
HP <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田4-2
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
HP <http://www.bgtym.org>

富山県花総合センター
〒939-1383 富山県砺波市高道46-3
TEL 0763-32-1187
FAX 0763-32-1219
HP <http://WWW.pref.toyama.jp/branches/169>

県民公園頼成の森
〒939-1431 富山県砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
HP <http://www.bgtym.org/ranjounomori/>

